

# 報 會

# 道 南

No.1  
53.4.1

ご あ い さ つ

景気回復がはかばかしくなく、何かと苦勞の多い昨今ですが、皆様お元気にお過ごしのことと存じます。

さてこのたび、会報「道南」を新しい装いで皆様にお届けすることになりました。従来「道南」は新聞方式により毎月発行していましたが、印刷費や郵送費の関係で、この方式をとることが会費の範囲内では不可能になりましたので、今回の様式に改め、年三回程度発行することにいたしました。常任幹事として長年お世話いただいた阿部さんが高齢で幹事の職を辞されましたが、同氏に対しては心から感謝の意を表する次第です。

二月三日の総会で会則を改正するとともに、宮本武雄、室谷邦雄、能味寿哉の三君に新しい常任幹事をお願いすることにしました。今後清らかな企画によって会の運営を図っていきたいと思っておりますので、皆様のご協力をお願いいたします。

## 北海道道南会

- 会 長 和田 貞一
- 副会長 山下 静一
- 副会長 梁川 剛一
- 会計監査 從二 建二



新しい

スタートを祝い

函館市長 矢野 康

道南会の皆様には、お元気でご活躍のこととお喜び申し上げます。道南会は、去る二月三日の総会において選出された和田会長殿をはじめ新役員のもと、新生のスタートを切りましたが、市民を代表いたしまして心からお祝い申し上げます。

私は、丁度その折、新年度予算編成の最中でしたので、新発足の大切な総会にお招きをいただきながら出席できませんでした。この紙上をお借りしてお詫言申し上げます。

現在の社会情勢は、構造不況・円高・通商問題など内外にわたり大きく揺れ動いておりますが、道南とりわけ函館市も造船不況や二百海里問題などで近來にない厳しい試練に立たされております。

しかし、このような情勢のもとではありますが、函館の特色を生かし、豊かな自然につつまれた、住みよい魅力あるあすの函館圏の建設をめざして、地域住民と手をとり合ってたゆまない努力を続けてまいりたいと思っております。

会員の皆様におかれましても、一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

道南会の新しいスタートを重ねてお祝い申し上げますとともに、会員のご健勝、ご活躍を心からお祈りして、私のご挨拶といたします。

## 新年総会の記

能 味 寿 哉

能登半島・輪島上空五千メートルに零下35度という大寒気団が居据っているとおあって、この冬一番に冷え込んだ二月三日。久々の道南会にはあいにくそんな日にぶつかっていた。新年会と総会を一緒にした新年総会という名の集まりは、丸の内・工業倶楽部の三階大広間に六十一名の出席でやや寂しい感じであったが、一年間のブランクを取り戻すように段々に盛り上がりを見せ、新生道南会にふさわしい明るく楽しい雰囲気うちに終了した。

午後五時頃早々と店開きした受付では、室谷幹事が牛谷、帆刈、菅原さんと皆さんのお出でを待っている。五時半すぎから混み出す情景を和田会長が愛用のビッカロニカでとっている。「宴会費五千円」「年会費三千元」、「新入会員申込み受付」の立札がフラッシュの中にはっきり目にはいる。受付は、福津君や日銀大阪支店から戻ってきた大沢君が手伝って、会費授受、名札と出席者名簿の交付とスムーズに運んでいる。大広間のソファでは、和田会長、山下・梁川副会長を囲んで寒波の話や円高不況の見通し、デノミが語られているところへ、はるばる函館から上京の市役所の山那秘書課長、坂東庶務係長のお二人が宮本幹事に案内されて見えた。一段と談笑がはずみ、会長はたくさん寄贈されたソノシート（はこだて賛歌）を喜んで見入っている。

定刻六時を少し回って宮本幹事の開会の言葉「お忙しい中、またお寒い中をご出席いただきありがとうございます。節分までは新年おめでとが言えるようで、改めて新年の賀詞を申し上げる。今夜はまず総会議事で規約の改正をご相談したり多少かた苦しい話になるがよろしくお願ひしたい。」と述べ、伴奏も用意していることで早いこと懇親会でくつろぎましょうと結んで盛んな拍手をよんだ。

正面のマイクに立った会長からは、遠来の山那課長・坂東係長の出席を深く感謝すると話を始められ「阿部常任幹事の引退という新事態で事務所の移転その他を皆さんにはかる必要があるので、室谷幹事からご説明させてもらおう。せん越であるが私が議長をつとめさせていただき、ご賛同をえたいと思うのでよろしく」と総会招集の趣旨を手短かにされて拍手のうちに室谷さんが司会者側のマイクに向かった。

「道南会の運営はこれまでかなり規約によらない弾力的運用でやってきたが、新事態で検討すると規約は不備なものとなっている。若干申し上げると、(一)阿部さんの所沢移転に伴い、事務所を適当な便利の地点に移す必要がある。(二)幹事は会長指名ということになっているが、



和田会長から、阿部良平氏代理福津さんへの記念品贈呈

従来すっきりしていないし、常任幹事も明文にないポストで、これらを明確にした。なお常任幹事は一名から三名にふやして会のお世話を遺漏なくできるようにしたい。(三)役員任期はなかつたので、世間一般の例のように二年間を目途とし、重任をさまたげないことにする。(四)会計年度は判りやすい暦年制によって会計報告をするほうが執行部としても好都合と考えている。(五)その他現代的用語で



新会員の自己紹介

統一したい……といった諸点から全般の見直しをしたいと思います、今夜逐条審議は省かせていただき、改正要点だけの説明ですませ、あとは執行部一任というところでご承認をいただければ幸いです」と明快な話が終わると、議長からも「ただ今の点如何でしょうか。早く懇親会に入りたいと思いますので、ご賛同の方は拍手をもって……」と室谷発言を笑いながらカバールされると、すかさず「異議なし、

議事進行」と盛大な拍手と歓声がおこって、会則改正は執行部一任の形となり、いずれ近く発行される会報紙上をもってお目見えすることとなった。

次いで会長指名による新幹事の発表があった。(別掲の通り)。また、常任幹事の三名も決まり、最高幹部の正・副会長と会計監査は従来同様であるとの念を入れた報告で議事はすべて円満りに終了した。和田会長から、新執行部のため精一杯のご支援をお願いしますとお礼の言葉も明るくホールにひびいていた。

ここで山下副会長が立たれ、引退された阿部前常任幹事の、道南会創立以来二十年に近い多年の功労を顕彰したいとの提案がなされた。

折あしく阿部さんは盲腸手術後の自宅療養中でお顔をみせられなかつたのは残念であったが、ほんとうに手弁当での道南会のお世話ぶりは生みの親、育ての親でもあったわけで、ご賛同いただける方は一口千円以上で、何口でもお願いしたいとの副会長のお話は、率直に皆さんの心情に訴えるところが大きく、後刻各テーブルごとに回章された「奉賀帳」には二口、三口の方が並んでいた。阿部さんの積年の労を感謝しねぎらう会員の気持ちの現われだといつてよい。

続いて会長からは、巷間色々取沙汰された変な「道南」紙のことについて触れ、先程受付で配付した阿部さんのはがきメッセージにもある通りで、阿部さん自身も迷惑を蒙っているが、私たち執行部も被害者である旨を述べられ、新年会に不似合いな話で申しわけないが、ご照会やらご心配されている会員も多くいらっしゃるののでこの席をかりてご了承いただきたいとのことであった。

七時近く新年パーティは開かれた。山下副会長が、近頃道内各市の出身会が雨後のタケノコのように生まれているが、道南会は老舗格であり、皆さん力を合わせて新スタートを切りましょうと力強くあいさつされる。それを受けて梁川副会長は、明朗純粋な親睦会にしたいと乾杯の音頭をとられた。エレクトーンが「乾杯の歌」を奏でる。正面のテーブルでは、和田会長に村山、宮崎、葛西の長老方が、紅一点の板垣夫人をまじえて笑顔が一杯。その奥はガマ先生こと崎崎さんがお伴をつれて杯をあげられる。右手の円卓では、榊田、相茶、阿部といった古い先輩方が、先日の函商新年会の思い出を語っている。山下副会長は、伊月、松本、西川の函商同期生と道南会の皆勤を誇っておるようだ。高橋画伯は、浜谷、牛谷幹事と、銀座松屋での梁川・沖邑・高橋洋画三人展の好評だった話を熱くされている。

末席の司会者テーブルには、松原幹事に松屋の斎藤大先輩のお伴をしてきた小泉氏に紅一点の芝崎さんが加わっている。

総会司会は宮本さん、パーティのほうは私とかねて割振りの通り、塩辛声をあげてマイクを向ける。山那課長は「予算編成の最中で市長は赤字財政対策で出席できなかった」とわびられ、結城助役も自治省

を回ってすぐ帰任する忙しさだという。いかにも若々しい山那氏の健闘を祈って「ガンパッテ……」の声援がとんでいた。

田中前厚生大臣が国会の多忙な合間を出席される。室谷幹事や福田さんなどは函中同期のサクラ。ヤーヤーで固い握手が交される。「しゃべるのは商売ですからいくらでもしゃべりますが、道南会ばかりはしゃべらせないでください。」と満場をドッと笑わせるのはサスガ。衆議院予算常任委員会の前委員長という重要ポストをこなされた田中さんに力の入った拍手が絶えなかった。

エレクトーンの名ブレイヤーは宮本幹事のお嬢さんですと発表すると、皆さんからホーという声があがり、あらためて盛んな拍手だ。そしてサッポロビール東京支店、ニッカウイスキー東京支社からの寄贈があったこともアナウンスされてムードは高まる一方だ。テーブルのオードブル、サンドイッチ、寿司など質量十分に、当倶楽部の兵藤支配人が自信をもって奨めるものだけに至って好評だった。

エレクトーンは、(雪の降る町)、(ベチカ燃えるよ)、(北の宿から)と、寒さにシバレル函館の町を物思わせるように弾き続けられていく。

もう会場は「ウウーン」という音一色になっている。受付の幹事方も引き上げてテーブルを囲み、帆刈さんの元気な声がしている。

ガマ先生からのメッセージが私の元へ。「梁川先生に三〇号の力作を二枚書いていただいた。一枚は応接室に飾ってある。もう一枚はぜひ道南会の有志の方にお譲りしたい。構図は女性ヌードとガマを配したもので、緑濃い湖の畔りで幸せを訴えている。ガマは昔から招き猫と同様に福縁を呼ぶといわれている縁起のよいもので、梁川先生を賛える意味でもぜひお買求め願いたい。号五万で求めた私だが、有志の方には四万でお譲りしたい。分割でも可」という内容。少年の日、敵中横断三百里、鉄仮面、三国志などの名さし絵に夢を燃やした私だったが、ちょっとガマ先生のご要望に比べられそうにもないのが悲しい。

会場のいろんな風景を、浜谷幹事の助手さんがタイミングよく写し

とっている。

新入会員の自己紹介が始まった。「正面マイクの所へお集まりください」と室谷さんの声がある。奥尻島人会で知り合ったという唐川さんがこの夏行われる奥尻開村百年祭の話をされて生き生きとした表情がうれしい。

田中さんと、ユックの日野ママの話がはずんでいる。「新宿住友ビル五〇階の店にぜひ行らして……」「ホー、三角ビルの中にもネ……」田中さんが小学校四年まで宝校で、その後千代ヶ岱へかわったとは始めて伺ったが、私自身は何としても宝学校の会をやりたいと思う。

「弥生学校集まるベヤ」と和田会長の呼び声でにぎやかに山下、太刀川、高橋氏らがマイクの前にそろった。弥生の校歌が高らかに歌われる。次いで常盤、青柳、新川……が元気に校歌を披露して一同を幼い顔にさせたことだ。

阿部さんへの募金が一通り集まったところで、会長から代理の福津幹事に目録の贈呈が盛大な拍手のうちに行為れ、福津氏から阿部さんの近況が伝えられ、代わって厚くお礼を申し上げるとのあいさつがあった。

中断された余興は鎌田幹事の江差追分から始まった。「ウマイモンだ」とどの卓でも感心して聞きほれている。葛西長老が「島で育てば」を歌って八十余歳の高令を感じさせない節回しにびっくりさせられた。前進座の岩見さんが、六月東横劇場公演の「高野長英一水沢の夜」と「百太郎騒ぎ」はぜひ道南会の強力後援を頼みますと山下さんに迫る。長谷川伸作の「百太郎騒ぎ」は実に初演以来四一年ぶりの上演という。昔、函館の錦輝館をやっていた頃の思い出話が山下さんを郷愁につからせてもいた。ジャックスの伊部会長が死んで大変な告別式だったという板垣夫人は、亡父がジャックスの前身北日本信販の創立の一人だった話をしたり、皆さんそれぞれに自由自在な活弁になっていた。

和田会長は水割を手にし、各テーブルを回っては、カメラでグループを写したり、「道南会も生まれかわったんだし、よろしくお願ひし

ます」と若い出席者たちにアピールされているのが印象的だった。

会場のウオーンという騒音に火を注ぐように、函中、函商の応援歌がいつのまにか始まった。変な「道南紙」で、道南会では函中と函商との勢力争いがあるなど書かれていたことを一掃するかのよう、有志がばん声を張り上げて身ぶり手ぶりの激しい応酬をして会を湧かせた。

帆刈さんが水戸から駆けつけた仲良しの菅原さんと道南会のみつかしい人々を思い起こしていたが、私も古い顔の一人になったのだなあと、司会のマイクを離れた時、しみじみとした感懐で胸一杯だった。



## 役員名簿

(五三・二・三現在)

自宅電話 勤務先電話

会長 和田貞一 七五一七九八八 五六三一一一一

副会長 山下静一 三三二一四〇八〇 二一一一七二七

〃 梁川剛一 三六一一三九〇五

会計監査 従二建二 〇四六六(81)六五七九 六六一一四七三三

常任幹事 宮本武雄 三九五一七二二六 二九一七五五三

〃 室谷邦雄 〇四七三(62)七二五〇 五八三一七九四七

〃 能味寿哉 〇四二五(75)七一〇 二七九一一一一

幹事 伊東克郎 六〇一五四八六 四〇三一一三三

〃 牛谷文子 七八二一七六六四

〃 鎌田幸光 三〇七一二四五二 三五一一二八八四

〃 太刀川善弥 四〇七一八九六六 二七一八八四二

〃 高橋賢一郎 〇四五(571)一五九三

〃 武富紀雄 三六一一八六二〇

〃 浜谷次郎 三三八一五七七二 六六九一六四六七

〃 橋本新太郎 四二二一六五九七 三四四一六五八六

〃 日野節子 三七八一七七八六 同 上

〃 福津達男 〇四七一(88)五六一八

〃 帆刈幸子 三三九一二九四二 四三二一五三五一

〃 松原竹造

(以上五十音順)



## 常盤小学校のこと

岡崎 弘



突然編集氏から話があって常盤小学校のことについて何か書けと言う。引き受けてみたものの、思えば半世紀以上前のことであるし、今してみればこの期間はほんの一瞬のことのようにも思われ、記憶も大部薄れている。

弥生小学校の尋常一年に入學した私が、ある日急に常盤小学校へ転校が決まったのは、大正十一年六月のことであった。二足草鞋を履いたお陰で現在両校に多くの知己を得、有り難いと思っている。

常盤小学校は、臥牛山の内懐深く、あたかも慈母に抱かれているような位置に建てたので、まわりにはうっそうとした松樹が繁り、また眼前には巴港の美しい青波と秀峰駒ヶ岳が展望され、校名常盤の名にふさわしい環境であった。朝な夕なに親しむ臥牛の山は、われわれに「動かぬ山の心持で」と教えてい

るかのようにも思われた。

当時は学校史開幕期のせいもあって、とかく先生と生徒の協力奉仕に負うところが多かった。たとえば運動会をやるにしてもグラウンドがないため、函館山の中腹（通称アタゴ山）の空地を利用し、先生と生徒が一緒になって土手を削り、窪地を埋め、障害物を除いたり地ならしをして、いふならばグラウンドの手作りから始めたものである。また校舎のまわりに花壇を造ることになって生徒も耕作班と肥料班に分かれ、私は肥料班にまわったため、馬糞を集めてこれを土と一緒に手でもみ砕く役をやったが、さすがに最初は顔を背け手を触れるのに躊躇したことを覚えている。しかし楽しいことも多かった。校舎のすぐ後の松林は、夏は天然の冷房となって涼風を送り、絶好の林間学校となった。このように学校の隣接地に林間学校を開けるところは、全国にもあまりその例はないのではなからうか。

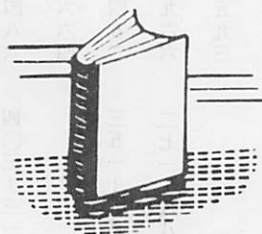
学校のまわりの林、森、土手等は、好個の遊び舞台であり、また季節には野草、山葡萄、栗等を探ったし、冬はスキー、スケート、そりすべりに興じたことなど思い出は尽きない。

在学中、校長は下河原先生、副校長は室谷先生（道南会室谷常任幹事ご尊父）、平塚、内田、大竹の三先生には担任でお世話になった。女の先生では唱歌を教えていただいた美しい河嶋先生の印象が深い。音楽を正規の学科として教えを受けたのは、生涯を通じてこの期間以外にはない。春の小川、旅愁、鎌倉、

水師營の会見などの調べを聞くと、オルガンについて無心に歌った教室の雰囲気はほほえましく、眼に浮かぶ。

二年前前、室谷邦雄氏の肝入りで在京常盤同窓会を開いた。五十年以上も経っているの期待と驚きの複雑な気持ちで出席したが、集まる十数名、「やあ」「やあ」で始まり、話せば童顔、昔の面影躍如たるものがあつた。紙数の関係でご芳名のみ記させていただく。星野（旧姓丸山）起代先生。松本迪夫、小網善吉、結城金正、大野寿夫、中道栄一、室谷邦雄、石川輝充、木村賢弥、室谷勇、同芳郎、同吾郎、（敬称略）。

その後、あの思い出多い常盤小学校が廃校となり、その跡が小公園になったと聞いた。激動時代の大きな変革を受けて新しいものに生まれ変わって行くのは、学校も例外ではないのであろう。ただここで人生の一コマを過ごしたものとって、何時の日か訪ねてみたいと思うのは、私だけであろうか。



## 函館の小学生の頃

帆刈 幸子



道南会の集まりで、「あんた、小学校はどこ？」と聞かれます。和田会長さんの弥生小学校の会ができてから、急に、小学校のことが皆さんの間で語られているようです。学んだ小学校、卒業した小学校を通じてふるさとを語り合うのは、道南会の中味をいっそう濃くするようで私はうれしく思っております。

私は昭和九年の大火までは、新川小学校に通いました。白髪の宗像校長先生のやさしい面ざしが甦ってきます。あの大火のことを思い出すと身ぶるいするのうに感じますが、住吉町から出た火は、函館の東海岸ぞいの多くの学校を焼き払い、新川小学校もその中の一つでした。私は、大火後一時木造建ての松風小学校の居候児童になりました。担任は神原文子先生でした。いつもまるで慈母観音のよくな微笑みをたたえていた先生は、紺の和服用の上ッ張りに袴をきちんとつけて、髪は真ん中から分けて後ろできっちりまとめておられました。二年位しか教えていただきませんでした。今でも先生のことは懐かしく鮮や

かに思い起こすことができます。三年前、北海道新聞の紙上をかりて（尋ね人）欄で先生の消息をお尋ねしたところ、幸い教えて下さる方があり、以後先生と親しく交通するようになり、度々ご上京の機会のある先生ご夫妻が、ある日私の団地まで訪ねて下さったことは本当に感激いたしました。四十年ぶりの対面になるわけです。私は心の中で（もうこのとしだから、泣かないわ）とつぶやいていました。それが、慈母観音の先生の笑顔に接したとたん、ろくにございさつの言葉も出てきません。ノドの奥で（先生、お元気で何よりでございます）と声にならないのです。そして出るのは涙、涙ばかりでした。先生は（どうしたの、幸子さん、サアサア、涙をふいて）と言って、小学生の私をあやさようにやさしくしてくれました。

私の家は、大火後に堀川町にかわりました。そして大火の翌年十二月、大森小学校の焼跡に新校舎がたち、昭和十一年一月に大森小学校は高盛小学校に改称されたのでした。校章は昭和三年に制定したという大森の校章文字を改めたただけでそのまま使用することになったのです。

市内を流れる新川を境いにして、高盛寄りの児童は高盛小学校へ、新川寄りの児童は新川小学校へ通うことになりましたが、高盛寄りの堀川町や高盛町、金堀町に住んでいる子供は、俗に「砂山の子」とさげすまされてきましたから、私たちはそれをきらって、越境

して新川へ入学させている家庭も少なくなかったといわれます。

私自身は、新築のすばらしい高盛小学校の生活を楽しんでいました。青たみみの匂いが清々しい裁縫室に座っていて足をシビレさせたり、ぴかぴか光っている廊下でスッテンコロリンしたり、理科室をのぞいては、カエルやへびのアルコール詰めに驚いたり、人間のガイ骨に恐怖の声をだしたりという毎日が新鮮な思いにさせられていました。

新しい校舎をみんな力合わせてきれいにどどの教室も窓ガラスはきれいに磨かれていましたし、その向こうに函館山が語りかけるように目近に眺められたものでした。

もう、昔の話になりますが、ヒゲの成田校長先生の何ともいえない威厳のある姿、今の学校の先生方にはないこわさとか、親しみ、あたたかみのあったことを懐かしく思ひながら、すてきな校歌の全部を、私の貧しい頭に甦らせることのできないジレッタさを感じています。



## 洋画三人展開く

会員高橋賢一郎さんの肝入りで、一月二十七日(金)から六日間、銀座松屋の七階ギャラリーイデ、梁川剛一氏(本会副会長)と沖邑品吉氏をまじえた三人展が開かれた。

かねて梁川先生の彫塑には、代表的な函館の高田屋嘉兵衛銅像などでおなじみはあったし、少年時代「少年倶楽部」その他にすばらしい挿画をたくさんおかきになっていることで強く印象づけられていたが、会場には、それらの原画十三点、たとえばターザン物語、ウイリアムテル、巖窟王、ジャングルブックといった西洋物から、三国志(張飛・沓水関の戦い)、(赤兎馬上の関羽)や山中峯太郎の敵中横断三百里が加わるといった多彩さであった。また世界の歴史を運んだ名馬シリーズも展示されたり、額装された逸品には、クオレ避難船より(あと一人しか乗れないボート)、三銃士決戦、敵襲といった、往時の感動をよび血をわかせるような名場面がなつかしく壁面を飾っていた。

高橋賢一郎さんは、すでに海洋画家として定評があるが、かつて海軍従軍画家として活躍されたおりの数点が出品されて注目を浴びていた。一九三九年の王兆銘政権下の広東市街図、焼土抗戦図、一九四四年の雪におおわれた北千島片岡島図などは、当時を知る人々



会場での高橋さんと梁川さん

にはたまらない感興をよびおこすことであるうし、説明もよく述べられていた。近作では忍野富士(15F)、外房御宿海岸、日光白根山初雪、甲斐駒残雪、さらには函館教会のある風景など練達な画風が底光りしているように感じさせられた。

高橋さんのお仲間である沖邑氏は幻想的な中にもあたたか味を伝えてくるようなユニークな手腕を高く評価する方も多いようで、セーヌ河畔、白馬の秋等々出品作がすべて赤紙がつくほどであった。

数年前のすさまじいような絵画投資ブーム

はもはや沈潜し、落ちついたムードの中でじっくり鑑賞しようとする人たちが会場はいい雰囲気を保っていた。

昨年の暮れから熊谷守一、浜田庄司、前田青邨、小糸源太郎といった高名な芸術家の計報が相次いでいるが、芸術界では皆さん高齢な方ばかりで、七十、八十ハナタレ小僧といわれるくらいと聞くと、今回の催しをステップに、高橋さん、梁川さんのさらによいそうのご飛躍を願わずにはおられない。

(R)



★お教え下さい：

おしえてケレーッ

ただし、いつの時代・何町に：をお忘れなように。範囲（テリトリー）は道南全域。

(一)著名海産商・著名回漕店 (二)著名な網元

(三)道南一代男 (四)道南古寺院・古神社名

(五)歴代の青函連絡船名（貨物船も含む）

このほかに何かを知りたい人は会報「道南」の能味氏にご連絡を賜わりたく。二百字詰原稿二枚以内のこと。なお道南一代男は江戸時代の高田屋嘉兵衛がそれ以上までさかのぼっても可。

このついでながら重要文化財とも言うべき函館弁：広くは道南弁ユが滅びつつあることは悲しいことであり、道南会の中に保存会を作りたいたいものだと思う。方言の知恵袋氏と声優と有力なスポンサーを求む。受付は道南編集部。

忘れていた方言がフトひとの口から語られるとき、子供心に還って腹の底から笑える。固く考えられてはアズマシくない：忘れかけていた方言で道南会の人々の心をモチョグルつもりです。参加を：。楽亭臥牛

★どなたか私にプレゼント

しませんか：函館銭を

家宝として子々孫々に伝え残します。函館の何町で製造したものか：正しくは箱館通宝というのだが。名古屋の東海銀行本店で初対面しそれっきりになっている。おそらく日銀勤務の能味氏が銀行畑の室谷氏あたりが温存して、ひとりほくそえんでいるのではないかと私は邪推している。私に箱館銭を恵むとどういうご利益があるのかと疑う人も多いであろうから。少々面倒臭いが説明をしておくでしょう。まず何と言っても「七難消滅」というご利益がある。七難中の最大の難である女難から逃れることができるのである。さて言いたい放題もいい加減にするとしよう。箱館通宝を製造しませんか？：道南会のシンボルになりますよ。ついでながら松前藩札ヤイ。あるのか無いのかどこにカクレているのか。道南のゼンコ：必ずマニアがいの筈だが「出て来い」。

楽亭臥牛



良書紹介

質屋の蔵

吉井民子著 九八〇円

発行所 みやま書房

札幌市中央区南8西11

(取りつき 函館大門前 森文化堂書店)

著者略歴

函館市若松町二五―一六居住  
旧制大谷高女をおえて、家業

(質商)に専念。

歌人として著書数冊がある。

(相馬哲平氏ご推薦のことは)

最近、帰函したおり本屋の店先まで購入したのですが、大火前の函館のことが何かとよく書かれていて、大変興味深く読みました。ぜひ会報で紹介してあげてください。

## 「家族そろって歌合戦」

### 函館の巻

一月二十九日(日)午後一時十五分からのTBSの人気番組「家族そろって歌合戦」は、第六〇四回目を迎えて函館市民会館からの放映であった。

司会の獅子てんや、瀬戸わんやが、盛んにハコダテの人情、味覚などをほめている。スクリーンにうつる港の冬景色は、連絡船だけのさびしさだが、五稜郭公園の雪景色はなつかしく郷愁をそそった。また北海道風の名で東高梅谷先生が指導する蝶、北海雀、馬等々の形に作った紙凧が、函館山を望む大空に舞いあがっていく情景がある。「よく飛ぶんだワ」という先生のハコダテ弁がうれしい。市民会館の中は大変な熱気で、出場者はもちろん満員の観客もウッスラ汗をにじませるほどだった。

第一回戦のコーラス合戦は、地元湯の川で手打ちラーメンを自慢に来々食堂をやっている玉谷さんのタスキチームと、上磯からやってきた親子三人のウサギチームの組合せで、「歌えパンパン」をきれいに聞かせたウサギさんが、「東京ナイトクラブ」のタスキさんに三一二で勝った。続いて、江差から出場の栄冠をえた浜谷さん父娘のリスチームと、市内の川原さん一家のゾウチームの対戦。ゾウさんの五十歳になる和服姿のお母さんと乗馬

・守猟が得意というモダンな娘さんに、新潟から激励電報が届いたりで、「函館の雨はリラ色」を一生懸命斉唱したが、リスさんは、農業改良員をしていて宴会で歌うことの多いお父さんを中心に「いつでも夢を」をアレンジして、こっちのほうに軍配があがった。これも三一二の接戦。

第三番目は、花園町の春日谷さん姉妹によるネコチームと、五稜郭でスナック経営という相田さん一族のサルチームだ。ママさんコーラスで普通練習しているという奥さんもがんばり「たそがれの銀座」を歌うサルさんだったが、姉妹の音質がそろっていてつややかに光っていると市川昭介さんがほめたネコチームの「ひげのお医者さん」が、四一で準決勝に進んだ。コーラス合戦のラストは、松川町に住んでいる竹谷さん、丸谷さんのクマチームと、行啓通りでスナック「モルト」をやっている丹さん一家のキツネチームの対戦。これも接戦で、審査にあたる高木東六さんや、あいにくのカゼで休んだ笠置しずきさんの代わりの阿部進さんたちが「函館の人はみんなウタがうますぎる、審査が泣かされます」と手放しのほめようなのだ。結局は、「旅姿三人男」を、国鉄三十年のキャリアで竹谷さんがうまくまとめて、コールマンひげのマスターが甘い声でリードした「四季の歌」を、三一二で破った。

ゲストの一人、清水由貴子が「ほたる坂」を歌って拍手を浴びた。

準決勝の四組は、それぞれが一人ずつ歌う。まずウサギさんチームとリスさんチームの取組み。どちらも遠くから出てきただけに粒がそろっていた。上磯は、十歳の娘さんが「能登半島」を歌って会場をわかせるど、江差も妙齡の娘さんが「津軽半島冬景色」を応酬するという熱戦で、昨年から石川さゆり人気をここでも再現しているのだった。しかし「別れの一本杉」を落ちつきたい声でやってのけたお父さんが、四一という思わぬ大差で決勝進出を決めた。

二番手は、ネコさんとクマさんの対戦。適齡期の姉、高三と中三の妹が、三人ともリズム感のあるさわやかな歌唱を聞かせ、東六さんは「中でも中三の妹さんの「北風よ」がとてもよかった」と評したほど。これに対してクマさんは、「霧の出船」、「ろくでなし」、「国境の町」と男性三人が終始好調に歌いつないで、わんやさんとは郷里浜坂?の地で遠縁にあたるという竹谷正一さんのいるクマさんに拍手がわきおこった。これも四一の大差だった。

いよいよ決勝戦となった。再びコーラスに登場するのは、リスさんチームとクマさんチーム。江差対函館市松川町のたたかきである前者は「青春時代」をお父さんのいい声を中心に歌えば、後者も負けじと「恋は紅いバラ」を披露した。

東六さんの批評は、リスさんが親娘三人がよくイキが合って安心して聞けた。クマさん

は、ややあがっていたようだ。マンボの重唱がなかった点、楽しみが減ったというわけで、豪華な賞品の日立ビデオセット（わが家にはまだない!）は、江差から遠来の浜谷仁郎、尚子、久仁子さん一家の掌中におさまった。

ゲストの北島三郎が、新曲「終着駅は始発駅」を歌った。おなじみデカイはなの穴がのぞく。体いっぱいで熱唱するサブちゃんに地元ファンはワァワァの声援と拍手だった。

最後にゲストが選ぶファミリー賞は、スナック経営のマスターが率いるキツネチームに与えられた。

テレビカメラがとらえる審査員の表情はいかにリアルだ。どちらに点をあげるかで思い悩んでいる顔と顔、首をかしげ手を宙に浮かし、またヒタイに手をやるといった無意識の演技が、全国のファンに切なくあつたかいものを感じさせるのだ。その辺に長寿番組の秘密があるような気がする。

（寿）  
追報 江差の浜谷さん一家は、全国大会で優勝ののしたものの、「ファミリー賞」をえられた。

## ふるさとニュース

— 道新函館版から —

☆「北洋漁業の発祥地、函館に道立北洋資料

館を」という構想がいよいよ本格的に動き出す。当面、二百万円の調査費を道庁が計上し、二、三年で結論がえられる予定。市関係者は、「道は大いにヤル気をみせている」と高く評価している。

☆青函トンネル工事は今年も順調に進み、海底部の先進導坑は本州側の竜飛工区で二月に掘削の月間最高を記録、本道側の吉岡工区も史上三位という快調ぶり。残りの掘削部分は、三月末で九キロをきる見通しで、同トンネルの五十七年度完成への足がかりはほぼ固まってきた感じ。

☆日本海サケ・マス漁は、水産庁からゴーサインの出た解禁初日、三月一日はあいにくの春一番に見舞われ、函館港に集結の十七隻の漁船は足どめにあつた。ソ連からクレームのついた出漁だけに、乗組員は先行きを心配しているとか。

☆市交通局は三月七日から「自治体消防発足三十周年記念乗車券」を発売中。一枚百八十円。函館の消防団は実力的にも全国有数のので、各地マニアからの購入希望が相つぐのではないかと、同局は自賛している。

☆二百カイリ減船のおおりで廃船に追いこまれた北転船が、江差町かもめ島沖合いの海底に姿を消している。三月十八日二隻の大型漁船が、マストもエンジンもすべて取り払われ、トモを高く青空に向けて、白いアワをブクブクわたたせながら、最後の別れを告げて

去った。投入地点はソイ、アブラコ、カレイ、ホッケの好漁場。魚の住みつく効率は高い由で、成果が大きく期待されている。

☆渡島管内の漁獲は昨年一年間驚異的な伸びを示して、四百五十六億九千万トンというこれまでの最高。漁獲量は十八億九千万トンと過去十か年の最高。水揚げだつた。やはりイカが百三十九億円、三万八千トンでトップ。次はホタテ貝、コンブ……といった順。スケツクも噴火湾全域で好漁で、前浜をうるおわせた。なお、地区別では南茅部町がコンブのほか、スケツク、ホツケの豊漁で、七十一億円、三万九千トン。函館市が百八億円、三万三千万トン……といずれも前年をはるかに上回る実績を上げている。ただ、松前町だけが沿岸のスルメイカの不漁のために前年を下回ったのが注目されている。

☆火山灰地の駒ヶ岳山ろくで育てた「黒色ブドウのフレドニア」を原料にして、純生ブドウジャムが森町からつくり出されることになった。ものがものだけに市販のジャムに比べ約二〇%高（三百グラウびん詰めで五百円、ほかに六百グラム、八百グラムあり）。棒二デパートの売り場にあるが、企業化した森町の浅利勢治さんは「もうかる仕事ではないが、不毛といわれた山ろくでの成功の一つの念願をはたした」と満足している。

☆「人間味にあふれた街造りの輪を広げよう」という、函館の歴史的風土を守る会。（仮称）



能	野	新	西	西	西	中	中	成	中	友	德	寺	千	丹	田	谷	太	大	高	多	武	高	太	高	高	玉	谷	田
味	坂	田	田	川	原	田	道	田	川	村	増	尾	葉	野	川	本	川	門	橋	賀	内	橋	川	橋	田	谷	口	中
寿	和	二	正	政	林	榮	孝	武	ト	シ	康	勇	慶	善	昭	五	宗	平	治	善	賢	義	シ	治	正			
哉	太	郎	友	雄	之	一	泰	清	夫	ミ	ケ	滋	男	治	隆	一	郎	将	八	雄	一	松	シ	有	已			
(宝)	(日高門別)	(函館小)	(巴太小)	(樺生小)	(八雲小)	(常盤小)	(千代岱小)	(森川小)	(新川小)	(旭風小)	(柏野小)	(松風小)	(松風小)	(弥生小)	(若松小)	(室蘭小)	(柏野小)	(函館小)	(龜田小)	(函館小)	(松前小)	(椴法華小)	(千代岱小)					

梁	森	室	室	室	村	村	宮	三	宮	宮	三	三	宮	松	松	帆	細	福	福	古	古	日	日	橋	初	橋	浜	野
川	谷	谷	谷	山	上	脇	浦	崎	崎	浦	浦	本	原	本	刈	井	津	達	次	義	勝	武	節	新	和	幸	次	
剛	清	芳	邦	三	敏	克	祐	松	願	建	豊	武	竹	迪	幸	偉	男	助	明	喜	夫	子	郎	信	郎	郎	実	
(宝)	(常盤小)	(堀川小)	(若松小)	(森生小)	(宝生小)	(函館小)	(宝館小)	(函館小)	(常盤小)	(高盛小)	(宝柳小)	(青柳小)	(宝柳小)	(第二東川小)	(高盛小)	(弥生小)	(新川小)	(函館小)	(柏野小)	(常盤小)	(高盛小)							

NHKのど自慢全国大会

福島町の木村幸子さん、  
日本一をのがす

町立福島保育所に勤める木村幸子さん(二一才)は、三月二十一日のど自慢全国大会に出場。先月、仙台市で開かれた東日本大会で勝ち抜いての晴れのステージだったが、惜しくも日本一の栄誉を逸した。歌は都はるみの「北の宿から」。

和渡渡矢矢山山  
田辺野作本下  
貞英忠勝静  
一太郎雄康幸一  
(弥生小)  
(函館市長)  
(厚岸)  
(瀬棚)  
(弥生小)

注一、函館以外の方の小学校校名は、出身地にしました。  
二、小学校校名の間違っている方、または記入のない方は幹事までお知らせ下さい。

## 学舎（まなびや）だより

一、松風小学校は三月五日廃校記念式典を行い、五十七年の歴史を閉じた。同校は、大正九年（一九二〇）当時の宝、高砂、若松、新川小の児童が転入して開校した。昭和九年の大火にも焼失をまぬがれ、一万五百六十二人の卒業生が巣立っていった。

市内の中心部から東部地区への人口移動につれ、四十一年頃から児童が減りだし、今年はいよいよ六百人を割るまでになり（最多時二千七百九十人）、新川小との統合が結実したもの。新校名は中部小学校で、鉄筋コンクリート四階だての校舎がすでに出上がっている。

二、春らしいボカボカ陽気の三月十八日、市内の小学校四十二校のうち、既に卒業式をおえた五校を除く三十七校で一せいに卒業式があり、四千四百名がなつかしい母校に別れを告げた。統合のため三月一杯で閉校になる新川、松風の両校はそれぞれ六十六年、五十七年の長い歴史をもつだけに、最後の卒業生たちは喜びと悲しみの複雑な面持ちだった。

三、東海岸戸井の日新小学校は、明年三月九日、開校百年を迎えるが（明治十三年（一八八〇））、同窓会では、旧校舎の模型を製作するとか記念事業を推進中。

## 「パ・リーグの新人王 阪急の新しい星」

### 佐藤義則投手は奥尻生まれ

江差町から船で三時間、海上六一キロの日本海に浮かぶ奥尻島。新鮮な魚貝と素朴な人情、そして荒々しい景観を自慢するこの島に、また大きな自慢がふえた。昨年パ・リーグで新人王の栄冠を獲得した阪急ブルエースの新鋭・佐藤義則投手その人である。日本シリーズで三連覇をとげた阪急は、今や上田監督のもとに新時代をつくりつつあるが、その中で強力な投手陣の一翼をになつて活躍しているミスター・佐藤義則に心からの声援を送りたい。（昭和二九・九・一一生、二三歳、身長一八一cm、体重八〇Kg、日大卒）



生家での  
記念写真

## 大相撲春場所 道南出身力士成績

（幕下以下）

（幕下）	勝	負
千代錦（北檜山）	3	4
工藤（奥尻）	4	3
（三段目）		
巴洋（函館）	6	1
松の島（戸井）	4	3
滝（今金）	4	3
清の川（上磯）	3	4
若竜海（樺法華）	3	4
紀井口（奥尻）	3	4
長橋（福島）	5	2
（序二段）		
星の洋（上ノ国）	3	4

# 北海道道南会則

(名称および組織)

第一条 本会は北海道道南会と称し、事務所を東京都港区赤坂一―一―一七細川ビル八〇五号(電話五八三―七九四七)に置く。

第二条 本会は東京都およびその付近在住の北海道南部出身者ならびに縁故者をもって組織する。

(目的および事業)

第三条 本会は会員相互の親睦を図るをもって目的とする。

第四条 本会は前条の目的を達成するため左の事業を行う。

一、集会の開催

二、郷土振興および後輩育成への協力

三、会報の発行

四、会員名簿の作成

五、その他本会の趣旨目的達成に必要な事項

(役員および権限)

第五条 本会に左の役員を置く。

会長 一名

副会長 二名

会計監査 一名

常任幹事 若干名

幹事 若干名

第六条 会長および副会長、会計監査は総会において選出し、常任幹事および幹事は会長これを指名する。

第七条 会長は本会を代表統括し、会議の議長となる。

副会長は会長を補佐し、会長事故ある時はこれを代理する。

会計監査は経理の適正を監査する。

常任幹事は会長の指示により会務を分担、執行する。

幹事は一般会務の処理に当たる。

第八条 役員任期は二年とする。ただし再任を妨げない。

第九条 会長は総会に諮って顧問を委嘱することができる。

(集会)

第十条 集会をわかち、左の三種とする。

一、総会

二、臨時総会

三、親睦会

四、役員会

第十一条 総会は毎年一回これを開き、予算の審議ならびに前年度の

会務および決算報告を行い、あわせて重要事項を協議する。

(会計)

第十二条 本会の経費は会費および寄付金をもって充てる。

会費は一か年金三千円とする。

第十三条 本会の会計年度は毎年一月一日から十二月三十一日までとする。

(加入および脱退)

第十四条 本会に加入せんとする者は所定の入会申込書に、会費を添

えて、会長の承認を得るものとする。

第十五条 会員にして本会の体面を著しく毀損し、または会員相互間

の親睦を阻害する行為をなしたものは役員会の議を経て除名するこ

とがある。

(雑則)

第十六条 本会より脱退または除名せられた者は本会に対し既納会費

等の返還を請求することができない。

第十五条 本会則は総会の決議によって変更することができる。

第十六条 本会則は昭和三十五年七月一日よりこれを実施する。

(付則)

第十七条 本会則は昭和五十三年二月三日よりこれを施行する。

新年総会アルバム  
 (和田会長のスナップから)  
 その1

右から  
 大沢さん  
 福津さん  
 牛谷さん  
 帆刈さん



右から  
 中田さん  
 木村さん



右から  
 橋本さん  
 梁川さん



右から  
 齋藤さん  
 村山さん  
 宮崎さん

( アルバムにつけた  
 お名前に間違いが  
 ありましたらお教  
 えください )

新年総会アルバム  
その2

右から  
榊田さん  
相茶さん



右から  
西川さん  
松本さん  
小網さん  
板谷さん



右から  
従二さん  
伊月さん  
山下さん



右から  
中川さん  
太刀川さん  
西原さん  
川端さん



新年総会アルバム  
その3

右から  
高橋さん  
岡崎さん  
大野さん



右から  
浜谷さん  
高橋さん  
三浦さん



右から  
赤尾さん  
室谷芳さん  
室谷勇さん  
武内さん



右から  
板垣さん  
芝崎さん  
福津さん  
小泉さん



新年総会アルバム  
その4



右から  
菅原さん  
西田さん  
古井さん



右から  
マイク  
鎌田さん  
宮本氏令嬢  
宮本さん  
能味さん



右から  
宮本氏令嬢  
宮本さん



右から  
能味さん  
田中さん  
白野さん

ムシムシて金満手番  
10才

市の花  
ツツジ



市の木 オンコ



市の花 ツツジ

市の木  
オンコ  
市の花  
ツツジ

昭和53年4月10日

会報「道南」No.1

発行所 東京都港区赤坂1-1-17  
細川ビル805号  
北海道道南会事務局

印刷所 東京都千代田区美倉町10  
ソーラン社

市の木  
オンコ  
市の花  
ツツジ